

平成30年度 教育委員会施策評価一覧表

幸田町教育委員会

対象事業名	事業の概要	平成29年度概算事業費	総合評価	教育委員会内部評価	外部評価委員会評価
特別支援教育事業	町内全小中学校の特別な支援を必要とする児童生徒に対して、将来、就労自立及び社会参加できるように、障がいの程度に応じた適切な教育的支援を行う。 また、日本語教育の必要な児童生徒に対しては、学校生活に必要な日本語を習得し、生き生きと学ぶことができるようにするために、取り出し指導などきめ細やかな個別指導や集団指導を行う。	49,618千円	A	特別な支援を必要とする児童生徒の不登校傾向や問題行動は少なく、学校生活に適応できている。個別の支援を充実させることで、集団への適応力をつけ、円滑な学校生活を送ることができている。	日本語指導教員や母国語支援員を配置して、日本語教育が必要な児童生徒に対して、取り出し指導などきめ細やかな個別指導が行われていることは大変好ましい。ポルトガル語に加えて、フィリピン語の母国語支援員を配置したことも評価できる。今後は、その他の言語を母国語とする児童生徒への対応や、義務教育卒業後の進学支援や就労支援等、所管課を越えた町全体でのサポート体制ができるとうい。 特別な支援の必要な児童生徒に対して、適切な教育支援を行う体制が、今後もさらに充実することを期待する。
社会体育推進事業	全年齢層の町内在住、在勤者に対し、スポーツの振興と心身の健全な発達、相互の親睦を図り、明るく住みよいまちづくりに寄与する。 主に町民大運動会、新春駅伝・ファミリージョギング大会、スポーツ教室、町民スポーツ大会、各種講習会の開催や愛知駅伝への参加など。	10,422千円	A	種目内容等に多少偏りはあるものの、多くの町民が参加する事業として、スポーツ事業が定着している。 大きく変更はしていないが、前年度の反省等を活かした事業展開を行っている。	町民大運動会が、全区の参加により開催できていることは大変素晴らしい。選手集め等の地元役員の負担軽減に配慮されているが、今後も町民大運動会が続くように努められたい。 定員の設けてあるスポーツ教室においては、参加できなかった分も含め希望者人数を把握することが望ましい。
文化財保護事業	町民だけでなくすべての人に対して、歴史文化資料を調査し公開することにより、地方文化の発展と歴史教育の充実を図る。 郷土の歴史研究、民具の収集・展示・保管および資料の調査研究をする。	31,774千円	B	文化財保護や周知等の拠点となる郷土資料館については、耐震補強を施したが未だ補強不足であるため、新館建設等による改善が求められる。 企画展示と同時にスタンプラリーに企画することにより、町内外のお客さんが資料館に足を運んでもらえた。国史跡については、発掘調査から10年、史跡指定から5年が経過し、町民の関心が薄れないよう今後も継続して、興味・関心の底上げが必要である。	大変興味深い講座、展示などを多く企画していることは素晴らしい。ただ「文化財ウォーキングマップやウォーキングイベントなどの存在を知らなかった。」という声もあるので、周知方法を工夫されたい。 現在の郷土資料館が貴重な資料を展示、保存する施設として適切か否か、新館建設を視野に入れ引き続き検討してほしい。

※評価基準（3段階） A：事業成果良好につき、継続が好ましい。 B：事業成果あるも、一部改善検討の上、継続 C：事業成果に課題あり、見直し又は廃止が適当

令和元年度 教育委員会施策評価一覧表

幸田町教育委員会

対象事業名	事業の概要	平成30年度 概算事業費	総合評価	教育委員会内部評価	外部評価委員会評価
<p>就学援助事業</p>	<p>経済的な理由によって就学困難な児童又は生徒の保護者に対し、義務教育の円滑な教育の機会均等のため、学用品費、給食費、修学旅行費等の援助を行う。</p>	<p>20,571千円</p>	<p>A</p>	<p>新入学児童生徒学用品費の入学前支給、中学校の部活動費の追加等、より使いやすく充実した制度の運用に努めている。</p>	<p>支給時期の変更、支給単価の増額、費目の追加など、毎年少しずつ制度の改善が見られている。今後も、本委員会の意見を踏まえ、積極的な改善に努められたい。 また、国補助金の項目に追加された「卒業アルバム代」等、入学期だけではなく卒業期の援助も検討されたい。</p>
<p>教育相談事業</p>	<p>幸田町内の小中学生、保護者、教員等に対して、非行や悩みを解消し集団生活に適応できるよう、相談、助言及び不登校で悩む児童生徒等に対する個々の状態に応じた指導を行う。</p>	<p>9,976千円</p>	<p>A</p>	<p>不登校だけでなく、情緒面の問題や発達上の問題に至るまで、幅広い相談内容に対応し、早めの相談や適応指導の活用により全国よりも不登校の割合は少ない。</p>	<p>より多くの方が相談しやすい環境づくりは重点的に進められたい。また、周知が十分になされているか、相談者が連絡しやすい環境となっているかを確認するためにも、相談のきっかけが分かるようなアンケートを取るとよい。</p>
<p>町民会館管理運営事業</p>	<p>町民だけでなく全ての人に対して、文化の拠点空間として、安全かつ利用しやすい施設を維持しながら、多様なニーズへの柔軟な対応や質の高いサービスを提供していく。</p>	<p>392,810千円</p>	<p>A</p>	<p>問題点を検証しながら、安全安心な施設運営を継続している。また、多様なニーズに対応した各種事業にも取り組み、利用者の確保に努めており、利用者にも喜ばれている。</p>	<p>町民会館は町民のシンボル・誇りになっており、利用者も多く喜ばれていることがうかがえるが、その分、駐車場が十分でなく路上駐車が発生していること、また駅からのアクセスが悪いことといった問題が生じている。駐車場の整備だけではなく、イベント時におけるシャトルバスの配置、またその周知など、時間のかかる課題ではあるが改善を進められたい。</p>

※評価基準（3段階） A：事業成果良好につき、継続が好ましい。 B：事業成果あるも、一部改善検討の上、継続 C：事業成果に課題あり、見直し又は廃止が適当

令和2年度教育委員会施策評価一覧表

幸田町教育委員会

令和3年 1月21日

対象事業名	事業の概要	令和元年度概算事業費	総合評価	教育委員会内部評価	外部評価委員会評価
<p>体験活動推進事業 (地域に根ざした学校づくり事業)</p>	<p>小中学校の児童及び生徒の学習意欲の高揚並びに心身の発達に寄与することを目的とし、町の指導方針及び各学校の経営方針に基づき、各学校の伝統、地域性、環境等の特殊性、独自性等を考慮した事業を各学校において実施している。</p>	<p>2,400千円</p>	<p>A</p>	<p>各校とも体験活動の充実を図り、地域の教育力を活用した特色ある学校づくりを実施している。</p>	<p>各学校を地域の人に知ってもらうことと児童生徒の良さを知ってもらい地域で役に立つ直接の体験ができる事業である。学校の限られた予算の中で、安定的に進めながら新しいものを取り入れたりして進められている部分を評価する。学校間の交流など工夫、改案をさらに進めて頂きたい。来年度以降予算の増額もあるようなので、教員の過度な負担にならないように地域主導でやっていける仕組みを作っていくことを検討されたい。</p>
<p>安全対策推進事業</p>	<p>児童生徒に危機意識や危険から身を守る方法を身に付けさせ、学校・家庭・地域・行政が一体となって子どもを守ろうとする機運を高めるために、各校の実情にあった安全教育、防犯教育、防災・減災教育の実施、緊急メール配信による不審者情報の周知等をする。</p>	<p>975千円</p>	<p>A</p>	<p>学校、地域と行政との連携がさらに深まり、地域が一体となって児童生徒の安全確保のための活動を行っている。</p>	<p>学校・地域・保護者の児童生徒を守る仕組みや環境整備は十分にできている。児童生徒が「自分の身は自分で守る」ということは十分に定着しているとは言えない。子どもの安全確保については、その都度、時代に合ったものを広く捉えながら対応していくことが重要である。また、特別支援の子どもたちの安全指導、外国籍の方へのメールの送信方法など更に整備を進められたい。</p>
<p>社会教育総務一般事業</p>	<p>子どもが自ら読書に親しみ、読書習慣を身に付けることを目標とする。「家庭、地域、学校等を通じた社会全体における取組」「子どもの読書活動に関する意義の普及、並びに活動を支える環境の整備」</p>	<p>1,117千円</p>	<p>A</p>	<p>関係機関や施設が推進計画に基づいた体制整備に努め、更なる読書活動推進のために第三次計画を策定し、実施している。各関係機関の協力体制は間違いなく以前よりも強固なものになっており、計画の実現率も高い。</p>	<p>推進委員会が整備され、事業の推進に向けて従来の施策をより徹底されようとしていることがよくわかる。この事業に対して、スマホの普及にも負けないよう、もっと積極的に続けてほしいという意見があり、事業ニーズは横ばいではなく増加としたい。学校・家庭・地域全体で図書の実実に努め、更なる読書活動の推進に向けて工夫されたい。</p>

※評価基準（3段階） A：事業成果良好につき、継続が好ましい。 B：事業成果あるも、一部改善検討の上、継続 C：事業成果に課題あり、見直し又は廃止が適当□